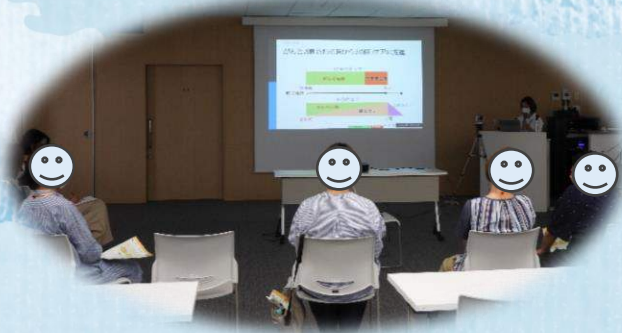


第1回 「がん患者・家族交流会」開催報告

ミニ学習会テーマ：「がんと診断された時の気持ちの変化」

(講師：上田幸奈がん看護専門看護師)

7月24(水) 13:30~15:00 記念すべき第1回交流会を開催しました。
猛暑のなか、9名のがん患者さん、ご家族、がんピア・サポーターが集まってくださいました。
オンラインで、邑智病院さんも参加してくださいました。ありがとうございました。



交流会では、参加者の皆さんから、がんの診断時の気持ちとして「何で自分がと思った」「いつまで生きられるのか、ということが真っ先に気になった」「ある程度覚悟をしていたので、そんなにショックは受けなかった」「身辺整理をしないといけないと考えた」という話も出ました。

毎回の抗がん剤治療を受ける際には、「採血がつかった」という意見が出ると、「そうそう、血管が細くなって、いろいろなところに針を刺されてね」「毎回、憂鬱だった」とか、「CVポートを入れてもらって楽になった」と、治療のたびに経験される採血の話題に盛り上がり・・・。

治療へのモチベーションを保つための工夫として、「治療が終わる度に自分へのご褒美として、おいしいものを食べに行った」「以前は躊躇していたことも積極的にやるようになった」「家族の存在が支えだった」とか、「心配が減るように、自筆証書まで作った」というようなお話まで出ていました。

治療を経験されている方同士だからこそ、気持ちが分かち合えるひと時でした。
今後も、多くのがん患者さん、ご家族に参加していただけたらと思っています。

ミニ学習会「がんと診断された時の気持ちの変化」の動画はホームページからご覧いただけます。

次回開催：8月23日(金) 13:30~15:00 「リンパ浮腫のお話」

